



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社ウチヤマホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6059 URL <http://www.uchiyama-gr.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山文治
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 川上哲緒 (TEL) 093-551-0002
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	11,695	△29.4	△553	—	△363	—	△316	—
2020年3月期第2四半期	16,573	23.5	1,017	104.8	1,134	84.4	735	62.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △306百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 795百万円(72.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△16.35	—
2020年3月期第2四半期	38.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	30,775	15,674	50.9
2020年3月期	29,622	16,078	54.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 15,674百万円 2020年3月期 16,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2021年3月期	—	5.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年3月期の期末の配当予想につきましては、未定としております。今後、予想が可能となった時点で、速やかにお知らせします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

現段階におきまして新型コロナウイルス感染症の当社業績に与える影響の合理的な算定が困難であることから、2021年3月期の業績予想は未定とさせていただきます。今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	21,618,800株	2020年3月期	21,618,800株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,287,777株	2020年3月期	2,287,777株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	19,331,023株	2020年3月期2Q	19,331,023株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託（J-E S O P）」の信託財産として（株）日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2021年3月期2Q 72,150株、2020年3月期 72,150株）が含まれております。また、（株）日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2021年3月期2Q 72,150株、2020年3月期2Q 72,150株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が悪化し、先行き不透明な状況となりました。このような経営環境下におきまして、当社グループでは、各セグメントにおいて新型コロナウイルス感染症の拡大防止を優先課題として捉えるとともに、経営への影響を考慮した対応策を検討し、推し進めてまいりました。

経費面におきましても、コスト削減を進めることで経営の効率化を行い業績の安定化を図りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,695,405千円（前年同期比29.4%減）、営業損失は553,526千円（前年同期は営業利益1,017,761千円）、経常損失は363,525千円（前年同期は経常利益1,134,415千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は316,148千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益735,177千円）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

a. 介護事業

介護事業におきましては、4月に障がい児通所支援事業放課後等デイサービスを1事業所、5月に介護付有料老人ホームを2カ所新規開設しており、当第2四半期連結会計期間末時点での営業拠点は107ヶ所185事業所となりました。

かねてより推し進めてきた産学官連携におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響から、精力的な活動は控えておりましたが、可能な範囲で有効な取り組みを行うように努めております。

新規入居につきましては、ご本人、ご家族、病院等との連携をはかり安全確認を十分に行った上で、積極的に受入れを行っております。それらの結果、当第2四半期連結累計期間での既存施設の平均入居率は95.2%（前年同期既存平均入居率94.2%）と安定的に推移しました。

また、経費面では、正規社員の採用を増やし、派遣社員割合を減らすなどしてコストの低減に努めております。なお、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,952,186千円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益は740,152千円（同8.8%増）となり、四半期連結会計期間の売上高及びセグメント利益はいずれも過去最高となりました。

b. カラオケ事業

カラオケ事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為の外出自粛要請や営業時間短縮要請等により、厳しい経営環境下におかれましては、要請解除後も、感染第2波への警戒心などから、集客の回復は遅れております。引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底することで、店舗の衛生環境の整備に取り組んでおります。それらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,461,142千円（前年同期比58.1%減）、セグメント損失は621,986千円（前年同期はセグメント利益381,755千円）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間において新規開店を2店舗、退店を1店舗行ったことから、当第2四半期連結会計期間末時点での店舗数は92店舗となりました。

c. 飲食事業

飲食事業におきましては、退店を1店舗行ったことから、当第2四半期連結会計期間末時点での店舗数は国内15店舗、海外2店舗となりました。なお、カラオケ事業同様に新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい経営環境が続いております。この結果、売上高は155,107千円（前年同期比77.1%減）、セグメント損失は127,400千円（前年同期はセグメント利益15,450千円）となりました。

d. 不動産事業

不動産事業におきましては、前第2四半期連結累計期間において、大型の販売用不動産の売却を行った一方で、当第2四半期連結累計期間においては大型の販売用不動産の取引はなく、例年通り賃貸不動産の仲介業務等を中心に行っております。この結果、売上高は78,816千円（前年同期比97.3%減）、セグメント利益は11,841千円（同97.8%減）となりました。

e. その他

その他におきましては、ホテル事業において、2020年7月より開始されたGoToトラベルキャンペーンに対応し、宿泊需要の取り込みを進めております。カラオケ事業、飲食事業同様に新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為に外出自粛要請などの影響から集客が減少しておりますが、当該キャンペーンの効果もあり、少しずつ集客が回復傾向にあります。この結果、売上高は48,151千円（前年同期比53.9%減）、セグメント損失は56,819千円（前年同期はセグメント損失37,749千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,153,157千円増加し、30,775,447千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より431,888千円増加し、15,507,115千円となりました。主な要因は、現金及び預金、売掛金が増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末より721,269千円増加し、15,268,332千円となりました。主な要因は、建物及び構築物、投資その他の資産（その他）が増加したこと及び有形固定資産（その他）が減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ1,556,769千円増加し、15,100,855千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末より149,093千円減少し、6,149,141千円となりました。主な要因は、買掛金、短期借入金が減少したこと及び1年内返済予定の長期借入金、未払法人税等が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末より1,705,862千円増加し、8,951,714千円となりました。主な要因は、長期借入金が増加したこと及び社債、固定負債（その他）が減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より403,612千円減少し、15,674,592千円となりました。主な要因は、配当金の支払い及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて289,690千円増加し、10,661,351千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況については下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、493,429千円（前年同期は2,796,724千円の収入）となりました。支出の主な内訳は税金等調整前四半期純損失が470,411千円、臨時休業等による支出が265,889千円、法人税等の支払額が194,749千円であり、収入の主な内訳は減価償却費の計上が295,607千円、臨時休業等による損失の計上が289,166千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、675,959千円（前年同期は347,831千円の支出）となりました。支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出が715,846千円、定期預金の預入による支出が175,716千円であり、収入の主な内訳は有形固定資産の売却による収入が220,617千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,460,990千円（前年同期は527,844千円の支出）となりました。収入の主な内訳は長期借入れによる収入が3,496,100千円であり、支出の主な内訳は短期借入金の減少額が369,600千円、長期借入金の返済による支出が1,436,542千円、割賦債務の返済による支出が101,992千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を現時点で判断することが困難なことから未定としております。

開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,678,737	11,017,406
売掛金	2,205,597	2,283,117
商品	48,657	43,427
販売用不動産	1,040,569	1,041,185
貯蔵品	317	305
その他	1,111,685	1,121,714
貸倒引当金	△10,337	△40
流動資産合計	15,075,227	15,507,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,638,414	5,368,889
土地	2,505,871	2,599,907
その他（純額）	1,340,803	770,175
有形固定資産合計	8,485,089	8,738,973
無形固定資産	56,258	50,884
投資その他の資産		
その他	6,027,151	6,507,525
貸倒引当金	△21,435	△29,050
投資その他の資産合計	6,005,715	6,478,474
固定資産合計	14,547,062	15,268,332
資産合計	29,622,290	30,775,447

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	587,223	499,581
短期借入金	1,079,600	710,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	2,274,206	2,528,857
未払法人税等	199,758	255,223
賞与引当金	300,658	310,678
ポイント引当金	106,564	112,352
株主優待引当金	15,810	—
資産除去債務	—	14,151
その他	1,674,413	1,658,297
流動負債合計	6,298,234	6,149,141
固定負債		
社債	180,000	150,000
長期借入金	5,927,609	7,732,516
資産除去債務	222,031	211,277
株式給付引当金	2,503	3,511
その他	913,707	854,409
固定負債合計	7,245,851	8,951,714
負債合計	13,544,085	15,100,855
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,222,935	2,222,935
資本剰余金	2,664,695	2,664,695
利益剰余金	12,409,369	11,996,204
自己株式	△1,164,420	△1,164,420
株主資本合計	16,132,579	15,719,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△53,206	△44,111
為替換算調整勘定	△1,168	△711
その他の包括利益累計額合計	△54,374	△44,822
純資産合計	16,078,205	15,674,592
負債純資産合計	29,622,290	30,775,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	16,573,677	11,695,405
売上原価	14,689,000	11,428,822
売上総利益	1,884,676	266,582
販売費及び一般管理費		
賞与引当金繰入額	8,565	8,824
租税公課	257,301	271,372
その他	601,048	539,912
販売費及び一般管理費合計	866,915	820,109
営業利益又は営業損失(△)	1,017,761	△553,526
営業外収益		
受取利息	3,786	4,524
受取配当金	15,683	23,998
補助金収入	44,685	90,202
その他	101,386	115,173
営業外収益合計	165,542	233,898
営業外費用		
支払利息	31,138	29,291
その他	17,749	14,606
営業外費用合計	48,887	43,897
経常利益又は経常損失(△)	1,134,415	△363,525
特別利益		
固定資産売却益	—	86,627
保険差益	—	39,350
助成金収入	—	※1 60,671
特別利益合計	—	186,649
特別損失		
固定資産除却損	11,000	—
減損損失	—	4,368
臨時休業等による損失	—	※2 289,166
特別損失合計	11,000	293,535
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,123,415	△470,411
法人税、住民税及び事業税	298,614	195,993
法人税等調整額	89,622	△350,256
法人税等合計	388,237	△154,263
四半期純利益又は四半期純損失(△)	735,177	△316,148
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	735,177	△316,148

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	735,177	△316,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61,518	9,094
為替換算調整勘定	△760	457
その他の包括利益合計	60,757	9,552
四半期包括利益	795,935	△306,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	795,935	△306,596
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,123,415	△470,411
減価償却費	366,552	295,607
減損損失	—	4,368
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,940	△2,681
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,065	10,020
ポイント引当金の増減額(△は減少)	6,450	5,787
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△13,095	△15,810
株式給付引当金の増減額(△は減少)	2,503	1,008
固定資産売却損益(△は益)	—	△86,627
固定資産除却損	11,000	—
保険差益	—	△39,350
助成金収入	—	△60,671
臨時休業等による損失	—	289,166
受取利息及び受取配当金	△19,470	△28,523
支払利息	31,138	29,291
売上債権の増減額(△は増加)	△156,704	△77,524
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,272,634	4,430
未払消費税等の増減額(△は減少)	△163,940	△75,593
仕入債務の増減額(△は減少)	△64,589	△87,270
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△295,265	122,755
その他	31,438	△6,285
小計	3,138,074	△188,313
利息及び配当金の受取額	16,498	25,326
利息の支払額	△31,454	△28,561
助成金の受取額	—	60,671
臨時休業等による支出	—	△265,889
法人税等の支払額	△435,727	△194,749
法人税等の還付額	109,333	98,087
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,796,724	△493,429
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△568,065	△715,846
有形固定資産の売却による収入	—	220,617
無形固定資産の取得による支出	—	△9,363
投資有価証券の取得による支出	—	△120,450
投資有価証券の売却による収入	354,176	—
資産除去債務の履行による支出	△16,900	△6,000
定期預金の預入による支出	△130,226	△175,716
定期預金の払戻による収入	130,221	130,232
敷金及び保証金の差入による支出	△48,344	△21,121
敷金及び保証金の回収による収入	94,297	5,729
貸付けによる支出	△83,203	△22,100
貸付金の回収による収入	24,376	26,962
保険積立金の積立による支出	△104,163	△75,534
保険積立金の解約による収入	—	86,630
投資活動によるキャッシュ・フロー	△347,831	△675,959

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	331,600	△369,600
長期借入れによる収入	880,000	3,496,100
長期借入金の返済による支出	△1,471,332	△1,436,542
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
割賦債務の返済による支出	△141,034	△101,992
配当金の支払額	△97,077	△96,975
財務活動によるキャッシュ・フロー	△527,844	1,460,990
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,260	△1,911
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,922,310	289,690
現金及び現金同等物の期首残高	8,856,086	10,371,661
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,778,396	10,661,351

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1. 助成金収入

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、店舗の臨時休業・営業時間の短縮を実施しました。店舗の臨時休業・営業時間短縮の実施により支給した休業手当について雇用調整助成金等の特例措置を受け、当該助成金の支給額60,671千円を特別利益に計上しております。

※2. 臨時休業等による損失

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、店舗の臨時休業・営業時間の短縮を実施しました。店舗の臨時休業期間中に発生した固定費(人件費・賃借料・減価償却費等)を臨時休業等による損失として、特別損失に289,166千円計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書 計上額 (注)3
	介護事業	カラオケ 事業	飲食事業	不動産事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	9,434,782	3,484,623	677,635	2,872,262	16,469,303	104,373	16,573,677	—	16,573,677
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	5,655	22,468	600	28,724	3	28,727	△28,727	—
計	9,434,782	3,490,278	700,104	2,872,862	16,498,028	104,376	16,602,404	△28,727	16,573,677
セグメント利益 又は損失(△)	680,506	381,755	15,450	537,756	1,615,467	△37,749	1,577,718	△559,957	1,017,761

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△559,957千円の内容は、セグメント間取引消去273,769千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△833,726千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書 計上額 (注)3
	介護事業	カラオケ 事業	飲食事業	不動産事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	9,952,186	1,461,142	155,107	78,816	11,647,253	48,151	11,695,405	—	11,695,405
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	337	23,575	600	24,512	—	24,512	△24,512	—
計	9,952,186	1,461,479	178,682	79,416	11,671,766	48,151	11,719,918	△24,512	11,695,405
セグメント利益 又は損失(△)	740,152	△621,986	△127,400	11,841	2,607	△56,819	△54,211	△499,315	△553,526

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△499,315千円の内容は、セグメント間取引消去251,170千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△750,485千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、「飲食事業」セグメントでは4,368千円の減損損失を計上しております。